

# 平成23年度 予算概算要求の重点事項

平成22年8月

国土交通省近畿地方整備局

# 平成23年度予算概算要求の重点事項

## 目 次

1. 平成23年度予算概算要求の基本方針 .....	1
2. 予算概算要求のポイント	
I. 治水関係 .....	2
II. 道路関係 .....	12
III. 港湾空港関係 .....	20
IV. 都市・住宅関係 .....	25
V. 営繕関係 .....	26

# 1. 平成23年度予算概算要求の基本方針

## ○平成23年度予算について

成長戦略の実現を中心に据えながら、真に必要な社会資本の着実な整備、安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化といった分野に重点を置いて、「選択と集中」を徹底し、事業を推進する。

各事業・施策分野においては、その目的・成果に踏み込んできめ細かく重点化し、限られた予算で最大限の効果の発現を図る。

### 概算要求の主な事項

#### I 国土交通省成長戦略の実現

- ・国際コンテナ戦略港湾等の整備・機能強化
  - ・内航海運・フェリーの競争力強化
- 等

#### II 真に必要な社会資本の着実な整備

- ・国土ミッシングリンクの解消
  - ・大都市圏の道路インフラ重点投資
  - ・予防的な治水対策の強化
  - ・激甚な災害等による被災地での再度災害防止対策
- 等

#### III 安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化

- ・建築物等の耐震建替・改修等の促進
  - ・公共交通インフラの耐震化の促進
- 等

に特に重点をおいて効率的・効果的に事業を推進する。

# I. 治水関係

## 平成16年災害の再度災害防止・軽減

### II 真に必要な社会資本の着実な整備

平成23年度は平成16年10月の台風23号により甚大な被害が発生した円山川では、平成22年度に完了する河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)に引き続き、緊急治水対策事業を推進します。また、同じく被害を受けた由良川では、再度災害防止を目的とした土地利用一体型水防災事業として輪中堤や宅地嵩上げの対策を、平成26年度の完成を目標に推進します。

## 円山川緊急治水対策事業の推進

平成16年台風23号洪水の再度災害防止に向けて、築堤や河道掘削及び内水対策等を実施します。

### 平成16年台風23号による被害状況



## 由良川土地利用一体型水防災事業の推進

家屋浸水防御のため、河守地区等18地区で輪中堤や宅地嵩上げ等を推進します。



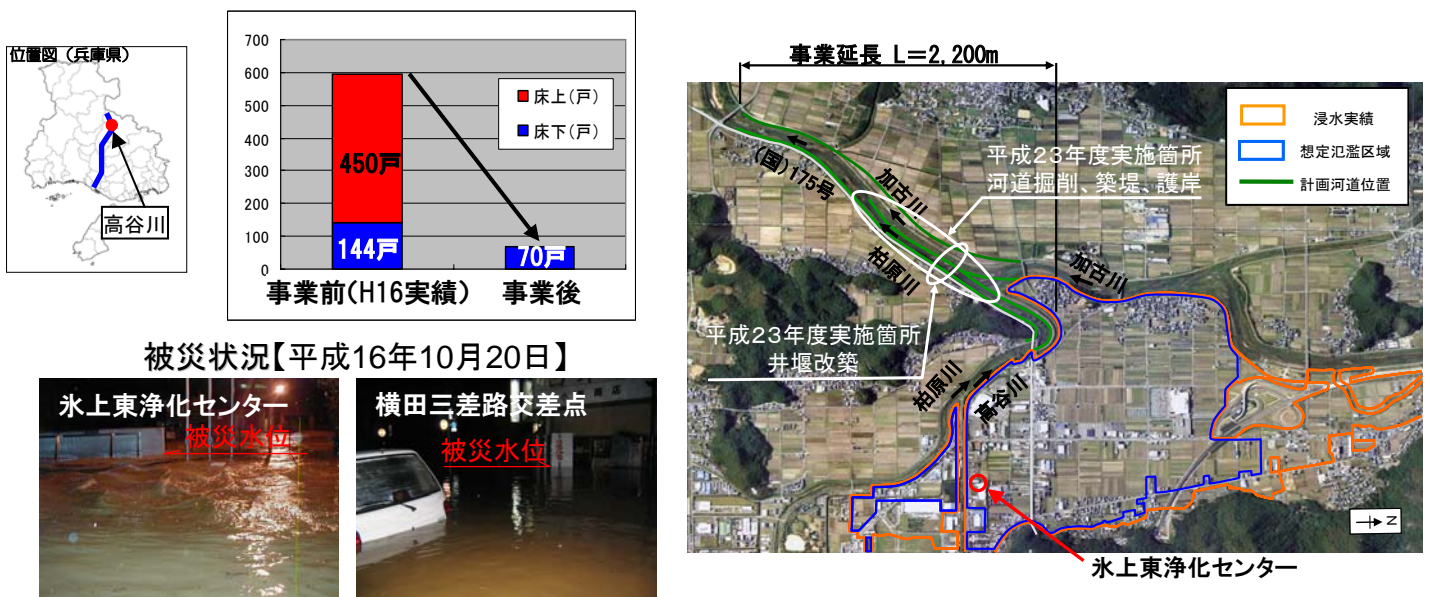
## ちくさ 千種川水系千種川床上浸水対策特別緊急事業の完了

平成16年台風21号により床上浸水160戸の甚大な被害が発生しました。平成23年度は、河道掘削、築堤、護岸、井堰改築等を実施し事業を完了させます。これにより平成16年度台風21号と同規模の洪水に対して浸水被害を解消されます。



## たかたに 加古川水系高谷川床上浸水対策特別緊急事業の完了

平成16年台風23号では床上浸水450戸という甚大な被害が発生しました。平成11年においても床上浸水被害があったことから、加古川本川からの背水の影響を軽減することを目的として、平成23年度は河道掘削、築堤、護岸、井堰改築等を実施し、床上事業を完了させます。これにより、平成16年台風23号と同規模の洪水に対して床上浸水被害を解消されます。



# 平成21年に災害を受けた揖保川、千種川の早期復旧

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

平成21年8月9～10日にかけての台風9号に伴う記録的な豪雨は、地域によって近年30年間で最大の降水量となり、兵庫県内では死者・行方不明者が22名、床上浸水335戸、床下浸水1,495戸(全壊166戸、半壊943戸)にのぼる甚大な被害となりました。

この被害を受け、千種川において築堤、河道掘削などの河川改修の推進、揖保川曲里地区における改修を進めるなど、再度災害防止に向けて浸水被害の軽減を図ります。

### 平成21年度の災害

#### 揖保川

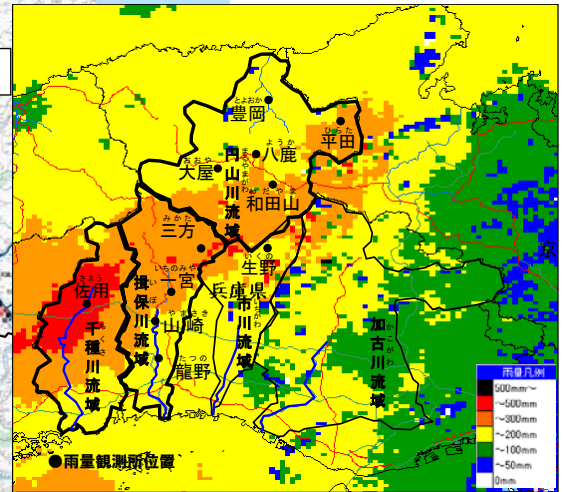
被災状況(平成21年9月末時点)  
床上浸水 91戸、床下浸水 171戸



#### 佐用川(千種川水系)



累加レーダ雨量  
平成21年8月9日降り始め～8月11日降り終わり

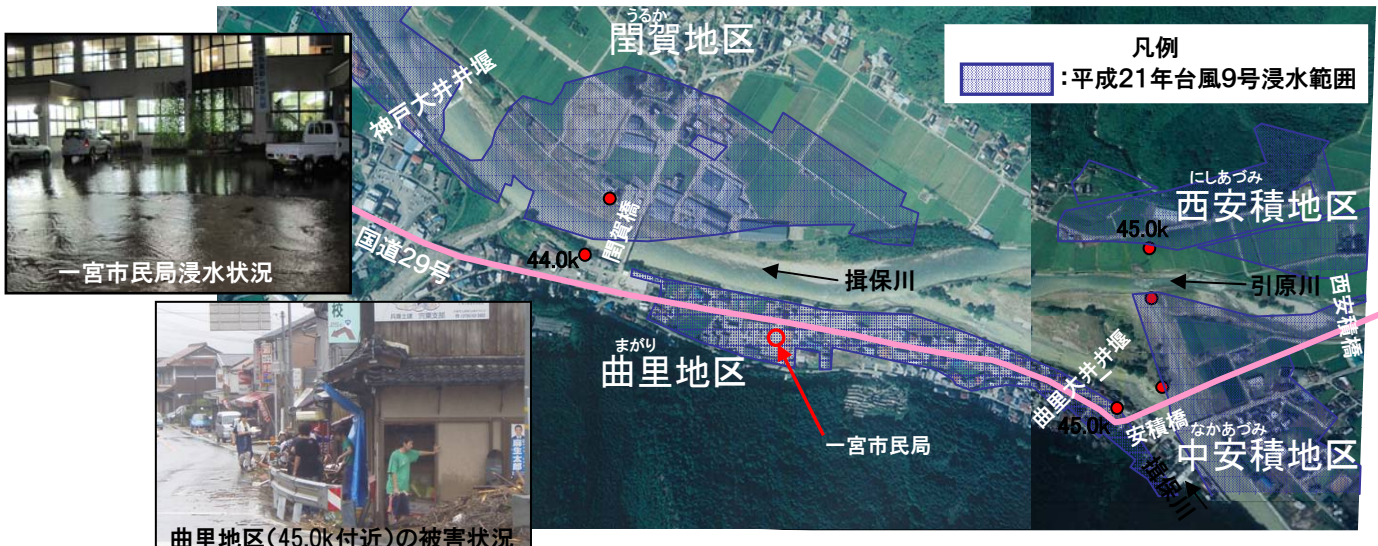


#### みやま三山川(千種川水系)



### 揖保川河川改修事業(曲里地区)

平成21年台風9号洪水の再度災害防止として、河道掘削等の出水時の水位低下対策を推進します。



# まちづくりと一体となった高規格堤防の整備・堤防の信頼性向上

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

人口・資産が高度に集積した大阪平野を堤防の決壊による壊滅的被害から未然に防ぐため、沿川のまちづくりにあわせて、市街地側に盛土を行い、幅の広い堤防(高規格堤防)の整備を行います。

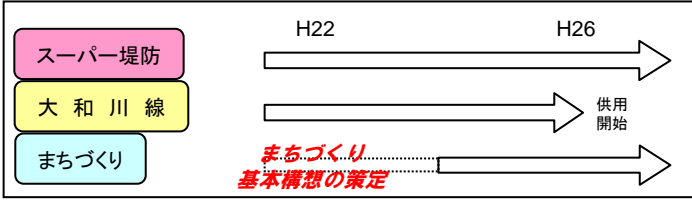
平成23年度は引き続き、都市再生プロジェクトを推進し、関西のミッシングリンク解消に向けて、環状道路の一部となる大阪府道高速大和川線・淀川左岸線と一体的に整備する区間を進めます。

また、淀川下流域における堤防の浸透に対する安全性が低い区間においては、堤防の川側の傾斜を緩くし堤防の断面を拡大させるなど、堤防の強化を図ります。

### 大阪府道高速大和川線との一体整備

大和川では大阪府道高速大和川線と高規格堤防の一体整備区間を、平成26年度の大和川線供用開始に向けて引き続き整備します。

また、堺市内において、まちづくりと一体となった高規格堤防整備に関し、「まちづくり基本構想」を策定するため、住民の意向把握を行います。



### 環状道路との一体整備

高規格堤防と大和川線を一体的に整備することにより、堺市中心部を含めた約1,000haの氾濫被害が解消。

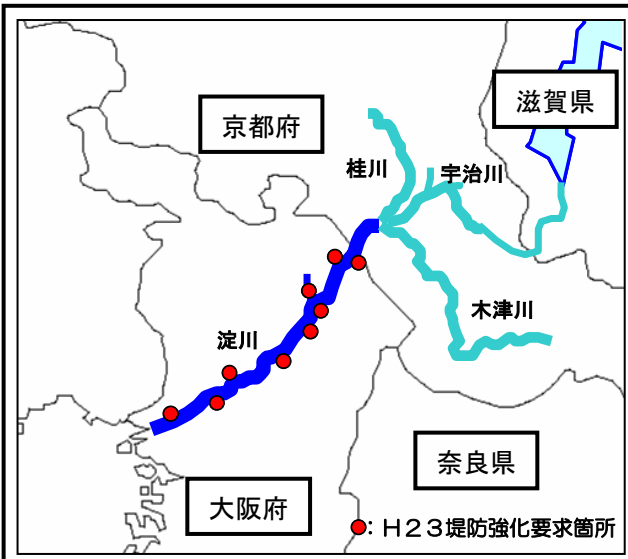


### 淀川下流域における堤防の信頼性の向上(堤防強化の推進)

平成22年度は、淀川下流域において、約2kmの整備を予定しています。これにより約6割の区間が整備済みとなります。

平成23年度は、引き続き、淀川下流域の堤防強化を推進します。

#### 堤防強化の実施箇所



#### 堤防強化(緩傾斜堤防)の実施例(大東地区)

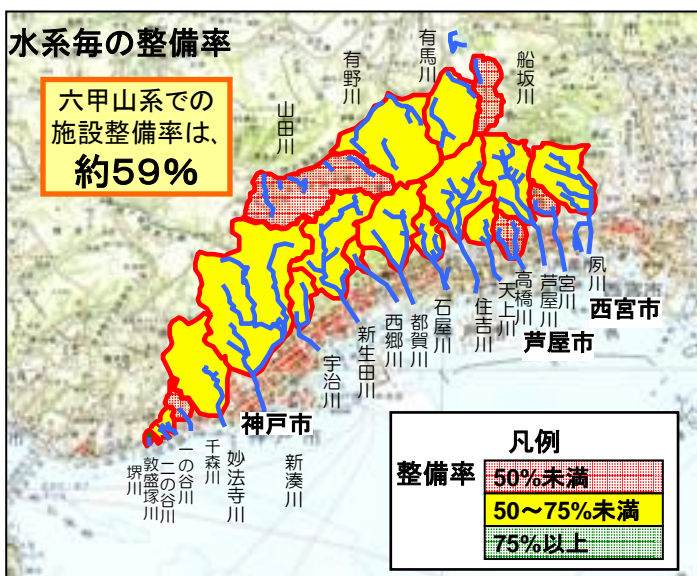


## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

六甲山系砂防事業では、六甲山からの土砂流出をコントロールし、人口と資産の集中した都市域を土砂災害から保全することを目的に実施しています。

平成23年度は、災害時の避難に支援が必要な人々の関連施設を守るため、土砂災害対策を重点的に行うとともに、京阪神間を結ぶ重要交通ネットワークを保全する砂防施設の整備を推進します。

また、砂防施設による斜面对策や山腹工などの森林整備、樹林の保全・育成を図るグリーンベルト整備事業を市民団体、企業、学校等との協働で実施します。



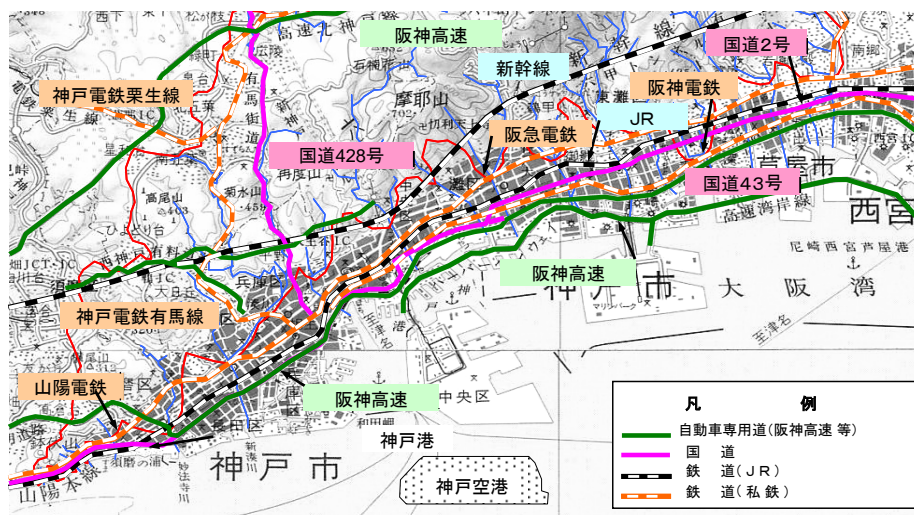
### ■ 整備予定の砂防施設例

保久良梅林堰堤(天上川)  
 保全対象：災害時要援護者施設(1箇所)  
 人家(300戸以上)



### ■ 重要交通ネットワークの保全

京阪神間を結ぶ国道2号、43号、JR東海道本線、阪急電車、阪神電車等の重要交通網を保全する砂防施設の整備を推進します。



### ■ グリーンベルト整備事業

六甲山系グリーンベルト整備事業では、市民団体、企業、学校等との協働で樹林整備活動を実施しています。

#### 企業による森づくり活動の様子



#### 学校による森づくり活動の様子





# 洪水被害から流域住民の暮らしを守るダム建設事業

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

- ・ダム事業は、河川改修とあいまって洪水を貯留することにより、下流の水位低下を図るとともに、貯留した水による安定的な都市用水の供給・発電を行い、安全・安心な生活を支えます。
- ・継続して実施する大滝ダム及び天ヶ瀬ダム再開発は、計画的に事業を推進するための予算としています。
- ・検証の対象となっている大戸川ダムと足羽川ダムは、「できるだけダムにたよらない治水」の施策転換する考えに基づき、「今後の治水のあり方に関する有識者会議」から提示される予定の中間取りまとめに沿って、今後検討を実施する予定です。

### (検証対象外事業)

おおたき  
●大滝ダム（紀の川水系紀の川） **本体工事段階**

大滝ダムは、紀の川沿川地域の水害を軽減するための洪水調節、水道用水および工業用水の供給、河川の本来持っている機能の維持、水力発電を目的としています。  
検証対象ダムとはなっていない、本体工事段階であり平成24年度完成を目指します。  
平成23年度は、地すべり対策工事を引き続き実施します。



大滝ダム位置図



大滝ダム

あまがせ  
●天ヶ瀬ダム再開発（淀川水系宇治川） **既存施設の機能増強**

淀川、宇治川の水害を軽減するための洪水調節、琵琶湖周辺の洪水防御、京都府南部の水道用水の供給及び発電を目的として既設天ヶ瀬ダムの放流能力を増強する事業を実施しています。

平成23年度は、補償工事及び本体関連工事を実施します。



大戸川ダム・天ヶ瀬ダム位置図

### (検証対象事業)

だいど  
●大戸川ダム（淀川水系大戸川） **生活再建工事段階**

あすわ  
●足羽川ダム（九頭竜川水系部子川） **調査・地元説明段階**



足羽川ダム位置図

# 地球温暖化による水災害激化への対応

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

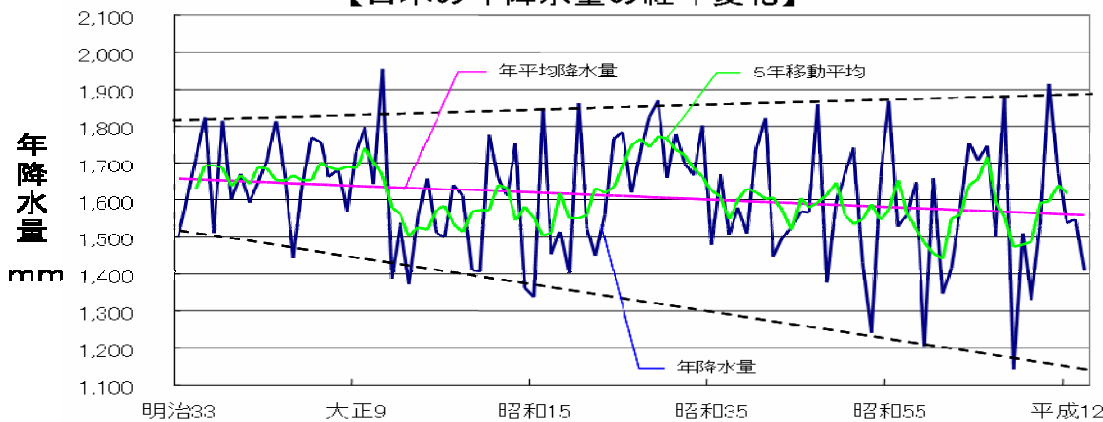
大規模水害に対する適応策を検討する協議会を設置します。

地球温暖化に伴う大規模水害による壊滅的な被害の回避、局地的な大雨による犠牲者ゼロを目指し、学識経験者と行政の関係者からなる「地球温暖化に伴う大規模水害対策検討会」を平成22年1月に設置しました。

平成23年度は、学識経験者と行政の検討会メンバーに加え、地方自治体や公共公益事業者などを加えた協議会に発展させ、大規模水害・局地的な大雨を対象とした危機管理対策計画を立案します。

○地球温暖化の影響により長期的に見ると少雨と多雨の変動が増大する  
(洪水も渇水も危険度が増大)

【日本の年降水量の経年変化】



IPCC(気候変動に関する政府間パネル)による報告(抜粋) (2001年)  
・21世紀後半までに、北半球中・高緯度や南極では、**降水量の年々の変動も大きくなる可能性**がかなり高い。

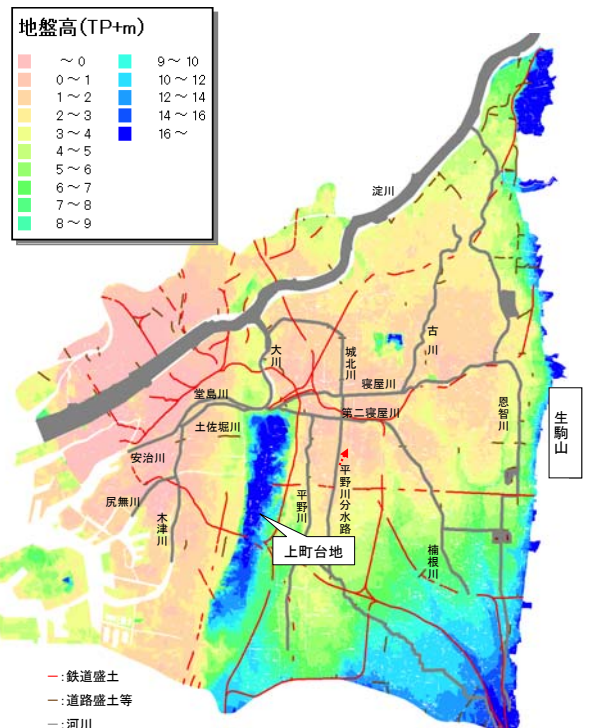
### 検討会の検討内容【H21～22年度】

1. 浸水想定
  - 温暖化の影響による外力規模を評価
  - モデルによるはん濫シミュレーションの実施
  - 大規模水害時の応急対策を検討するための浸水想定を公表
2. 被害想定
  - リスク項目の整理(人命・財産やライフライン、経済活動に関する項目)
  - 浸水想定結果を用いて、人的被害や物理被害、経済被害等の想定結果を公表

さらに、施設管理者・公益事業者・まちづくり部局等を交えた協議会へと発展させ、大規模水害・局地的な大雨を対象とした危機管理対策計画の立案を行います。

### 協議会の検討内容【H23年度】

1. 適応策検討
  - 大規模水害時のシナリオ作成
  - 災害に備えた対策の検討
  - 災害発生時の対策の検討
  - 復旧・復興段階における対策の検討
2. 危機管理対策計画立案
  - 平常時・非常時の「まちづくり」としての取り組み・計画を立案



大阪都市圏における地盤高状況

協議会へ発展

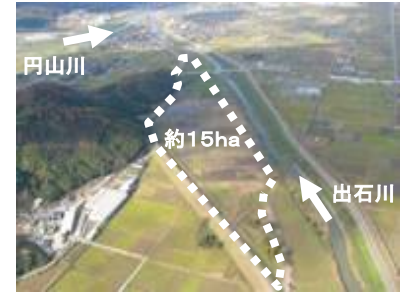
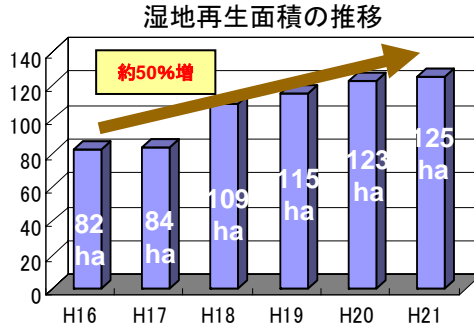
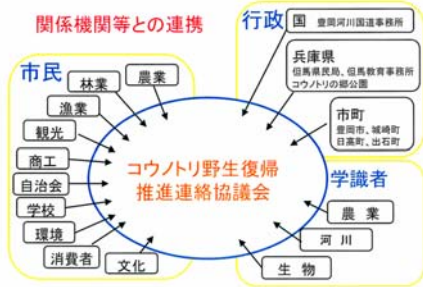
# 生態系の保全を促進する自然再生に係る事業

## Ⅲ 安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化

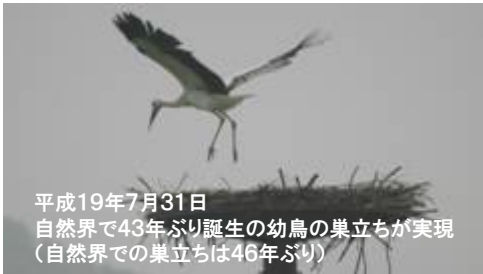
### 【円山川の取り組み】

かつてコウノトリが生息していた頃の豊かな生態系を回復するため、魚類をはじめとした多様な生物の生息・生育・繁殖環境の再生に取り組みます。

平成23年度は、コウノトリ野生復帰推進連絡協議会と連携し、加陽地区の湿地再生を推進します。



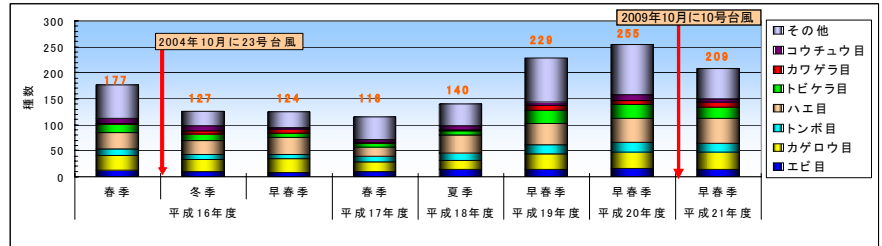
出石川加陽地区湿地再生予定箇所



平成19年7月31日  
自然界で43年ぶり誕生の幼鳥の巣立ちが実現  
(自然界での巣立ちは46年ぶり)

※H22年6月現在では豊岡盆地における自然界のコウノトリは36羽。

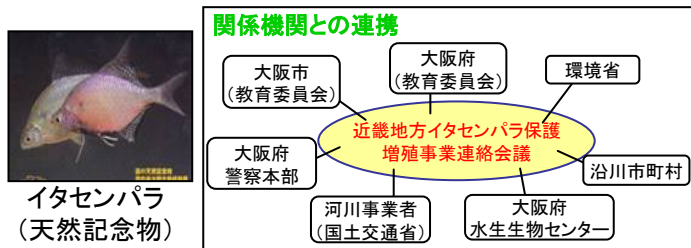
### 湿地整備による整備効果（生物確認種数の推移（底生動物））



### 【淀川の取り組み】

イタセンパラが安定的に種を維持し、多種多様な淡水生物相の再生を目指し、現存するワンド群の保全と、干陸化したワンド・たまりの再生に取り組みます。

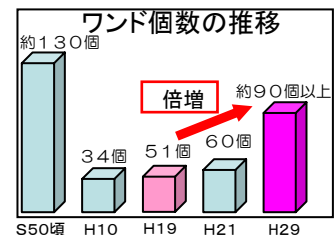
平成23年度は、淀川環境委員会(学識経験者)の意見をふまえ、さらに関係機関と連携し、平成20年3月時点で51個あるワンドを概ね10年間で90個以上へとするワンド倍増計画を継続して推進します。



イタセンパラ  
(天然記念物)

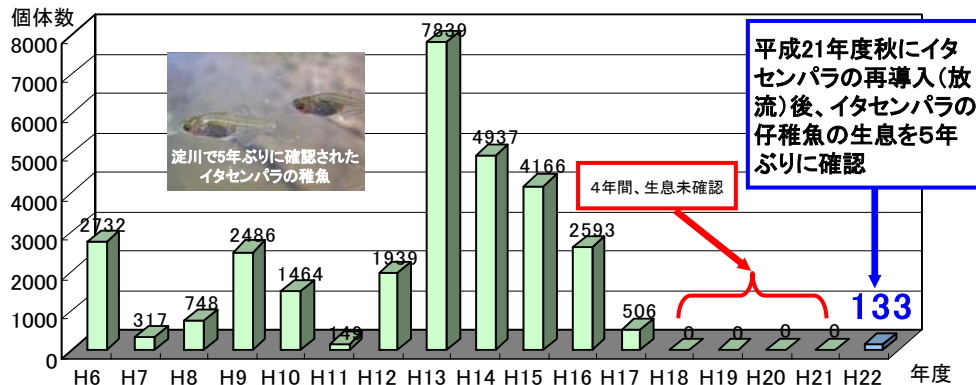


イタセンパラの再導入(放流)イメージ



平成19年からの10年でワンド数の倍増を目指します。

### 淀川におけるイタセンパラ仔稚魚の確認数



▲現存するワンド群(城北地区)

# 景観を考慮した河川事業

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

### 宇治川塔の島地区緊急対策特定事業の推進

宇治川では、1,500m<sup>3</sup>/sの河道を整備する計画としており、洪水疎通能力の低い塔の島地区の河道整備は喫緊の課題となっています。

また、平等院等の世界遺産や伝統芸能である鶺鴒を中心とした観光地であることから、河川整備にあたっては、歴史・景観・観光に配慮します。

#### ◆歴史的景観に配慮した河川整備



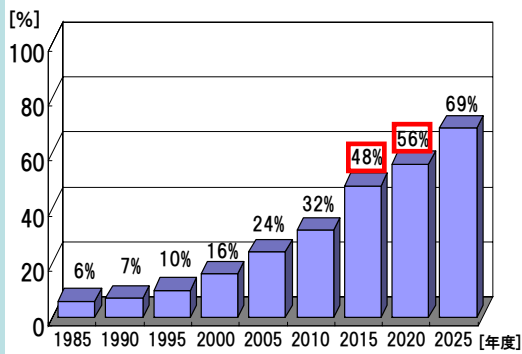
# 河川管理施設の長寿命化対策

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

河川管理施設を正常に機能させるため、定期的に点検・整備を行って、健全度などを総合的に評価し、計画的な補修を実施します。これにより既存施設を引き続き使用して、維持費の低減を図ります。

設置後40年経過した河川管理施設※の割合推移

※近畿地方整備局管内

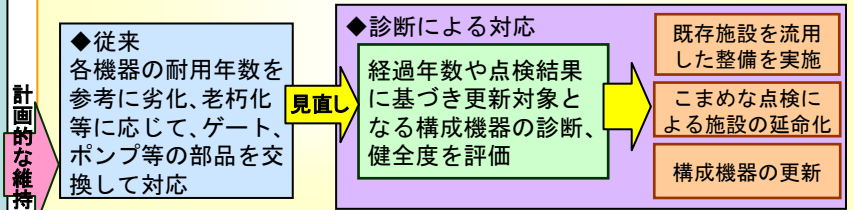


●近畿地方の直轄河川における水門、樋門や排水機場などの河川管理施設は、5年後には約5割の施設が設置後40年以上を経過することとなり、老朽施設がさらに増加します。

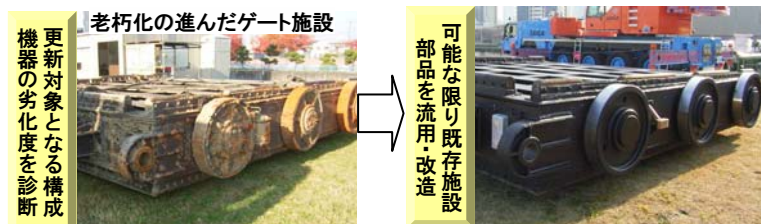
●近年、頻発する局地的豪雨や、台風による出水において多大な被害が発生していることから、計画的な維持管理によって河川管理施設を適切に機能発揮させる必要があります。

### ●劣化度診断による総合評価→効率的な修繕→維持管理費の合理化

設備の重要度(設備の区分、社会的重要度)、構成機器の健全度(点検結果からの設備の評価)を評価し、維持管理の合理化、コスト縮減を図ります。



### ●排水機場のゲート設備更新の事例



※損耗の激しい部材の材質を腐食に強いSUSに変更することで、維持修繕に係るコストを縮減。

◆平成23年度 主な完了事業箇所（治水関係）

（補助事業）

事業名	河川名等	地区名
床上浸水対策特別緊急事業	千種川	兵庫県赤穂郡上郡町
床上浸水対策特別緊急事業	高谷川	兵庫県丹波市

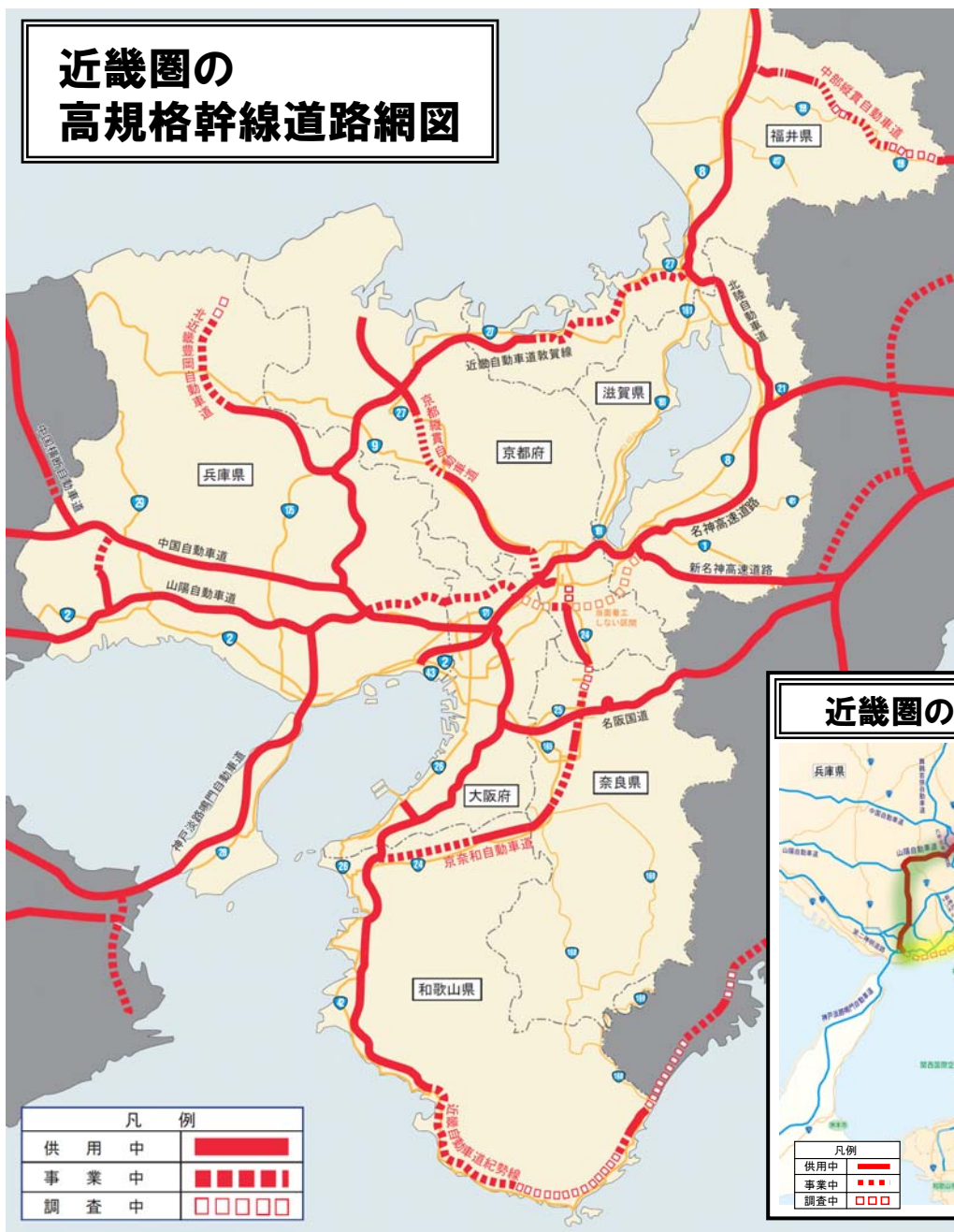
## Ⅱ. 道路関係

### 基幹ネットワークの整備

#### Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

近畿圏の発展に向け、産業・観光等を支える地域内外の交流・連携ネットワークの強化、交通渋滞の緩和、交通事故の減少、環境負荷の軽減、物流の効率化等を図るため、京奈和自動車道等の環状道路の整備や近畿自動車道紀勢線、中部縦貫自動車道、京都縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道等、基幹となるネットワークを構成する路線の整備を推進します。

### 近畿圏の 高規格幹線道路網図



### 近畿圏の環状道路ネットワーク



※平成22年3月末現在

# 国道483号北近畿豊岡自動車道(和田山八鹿道路)

北近畿豊岡自動車道は、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と一体となって広域交通ネットワークを形成する高規格幹線道路です。但馬・丹波地域と京阪神都市圏との連携を強化し、地域の活性化を支援し、また災害時における交通の確保、緊急医療機関へのアクセス強化を図る道路として期待されています。このうち和田山八鹿道路は、養父市と朝来市を結び、地域の活性化に資する幹線道路網の形成を目的とした道路であり、平成23年度に供用を予定しています。

## 国道483号 北近畿豊岡自動車道

写真



別所高架橋の工事状況

### ■災害時における交通の確保

平成16年10月の台風23号による水害で国道312号をはじめとする豊岡市への交通路が通行止めとなりました。和田山八鹿道路を含む、北近畿豊岡自動車道の整備により、災害時における物資輸送や緊急搬送の代替路として機能します。

写真

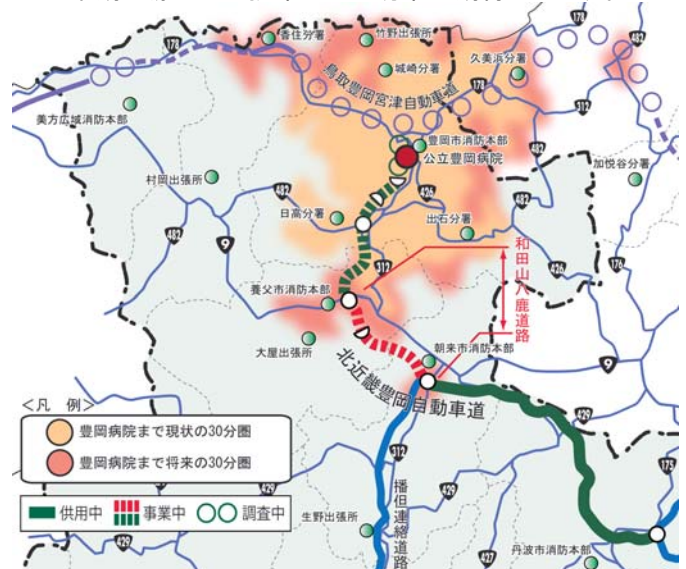


台風23号の被災状況

出典：台風23号浸水実績図

### ■緊急医療機関へのアクセス強化

和田山八鹿道路を含む、北近畿豊岡自動車道等の整備により、豊岡病院からの30分圏域が拡大され、早期治療による救命などの効果が期待されます。



出典：豊岡河川国道事務所調べ

### ■地域連携の強化

但馬地域は自然や歴史遺産、海鮮、温泉など豊かな観光資源があり、和田山八鹿道路を含む、北近畿豊岡自動車道の整備により、京阪神との連携が強化し、観光産業など地域の活性化が期待されます。



出典：道路時刻表、旅行速度調査結果より算出

### ■平成23年度 事業内容

- ・国道483号北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路(和田山JCT・IC~八鹿IC) L=13.7km 平成23年度供用を予定。

# 国道24号京奈和自動車道(大和御所道路、紀北東道路)

京奈和自動車道は、京都、奈良、和歌山の拠点都市を結び近畿圏の環状道路を構成する高規格幹線道路です。京都・奈良・和歌山間の移動時間を短縮することにより観光振興を支援するとともに、地域の活性化に資する路線として期待されています。このうち大和御所道路及び紀北東道路は、国道24号の慢性的な交通混雑の緩和、交通事故減少などを目的とした道路であり、平成23年度に一部区間の供用を予定しています。

## 国道24号 京奈和自動車道

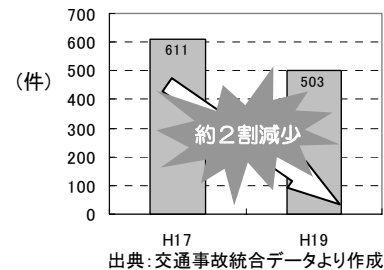


〈御所区間の工事状況〉

### 交通の安全性向上

大和区間、五條道路、橋本道路の開通に伴い交通事故が約2割減少

【交通事故の減少】

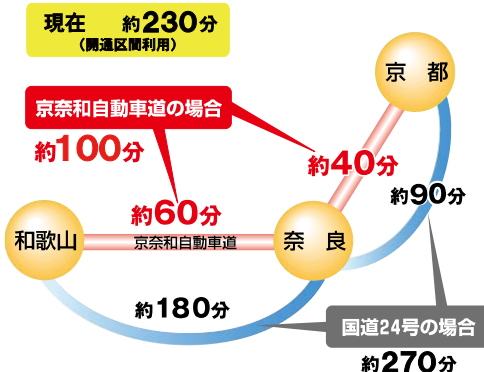


出典: 交通事故統合データより作成

### 観光支援

沿線には世界遺産など豊かな観光資源があり京奈和自動車道の整備により、目的地への所要時間を短縮し、観光を支援します。

【所要時間短縮】

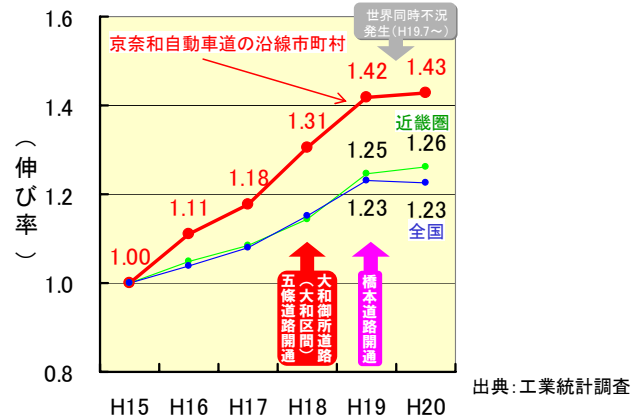


出典: 国道24号は(道路時刻表2002~2003)より算出  
開通区間は開通後の旅行速度調査結果より算出

### 地域産業の活性化

京奈和自動車道の沿線では企業誘致が進み、沿線市町村の製造品出荷額は他の地域より高い伸びとなっています。

【製造品出荷額の伸び率】



出典: 工業統計調査

### 平成23年度 事業内容

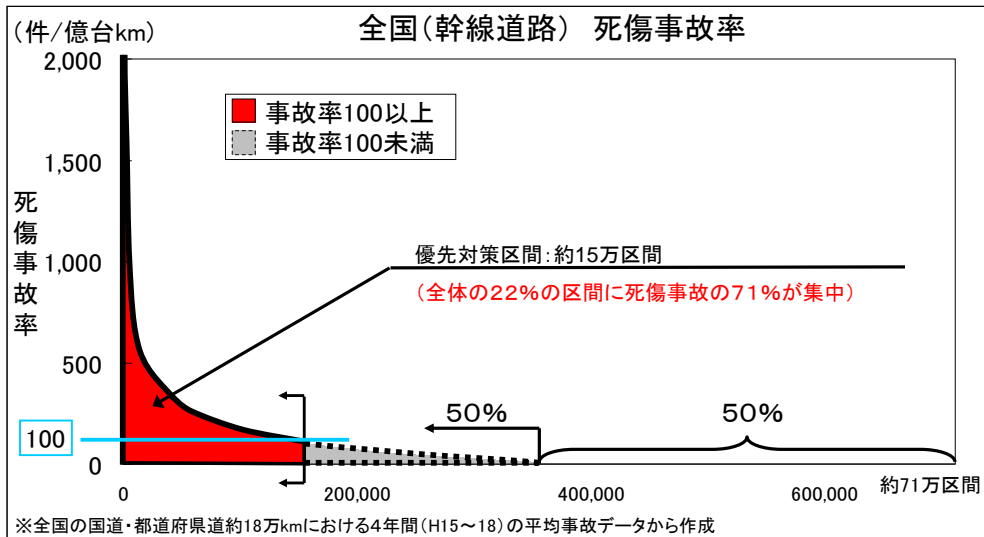
- ・国道24号京奈和自動車道 大和御所道路(檀原・大和高田IC~檀原南・御所IC) L=3.7km
  - ・国道24号京奈和自動車道 紀北東道路(高野口IC~かつらぎIC) L=4.0km
- 平成23年度供用を予定。



# 事故危険箇所における事故対策

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

幹線道路では交通事故が特定の区間に集中して発生していることから、事故危険箇所など、事故の発生割合の高い区間において重点的な交通事故対策を実施します。この際、事故データの客観的な分析による事故原因の検証に基づき、交差点改良等の対策を実施します。



出典:(財)交通事故分析センター

事故危険箇所: 事故の発生割合の高い区間のうち、特に重点的に対策を実施すべき箇所として警察庁と国土交通省が平成21年3月31日に指定したもの。

死傷事故率: 1万台の車が1万km走行した場合に起こる死傷事故件数

### 国道42号 湯浅交差点改良事業(和歌山県有田郡湯浅町湯浅地先)

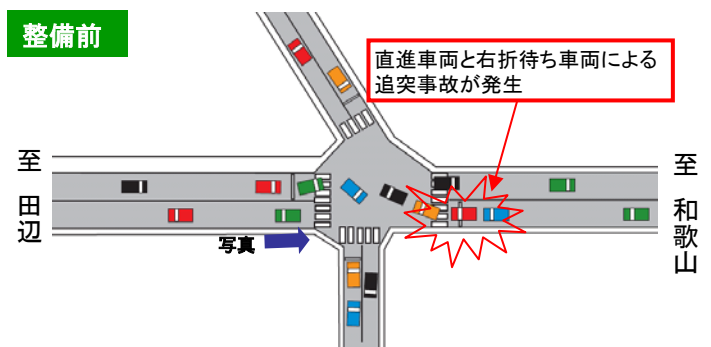
湯浅交差点は、右折車線が設置されていないため、直進車が右折待ちの車に追突する事故が発生しています。

本事業で、右折車線を設置することにより、追突事故を防止します。

当該箇所



整備前



整備後

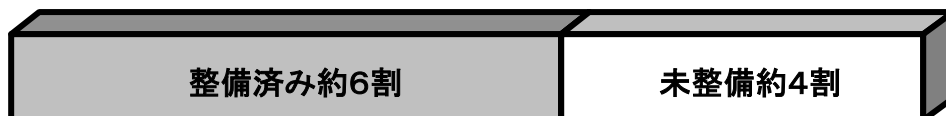


# 通学路等における安全で安心な歩行空間の創出

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

人優先の安全・安心な歩行空間を形成するため、通学路等において重点的に対策を実施します。

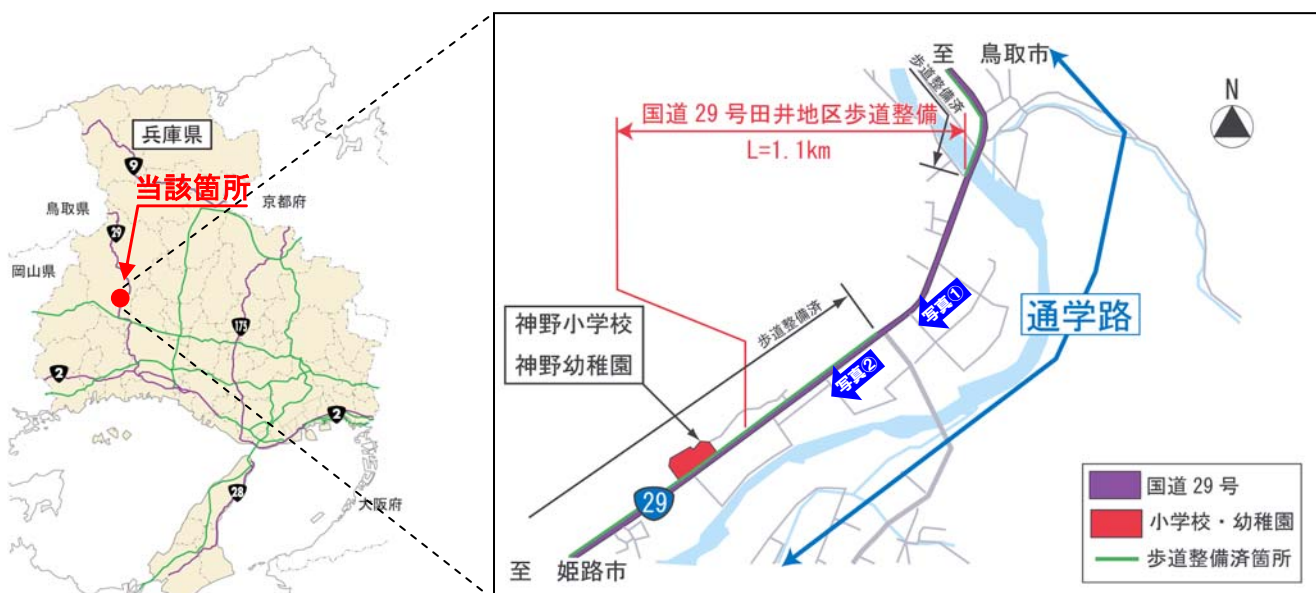
■近畿管内(直轄国道) 通学路全体延長 約294km



近畿地方整備局調べ(H22.4.1日現在)

### 国道29号 田井地区歩道整備事業(兵庫県宍粟市山崎町田井地先)

宍粟市山崎町田井地先の国道29号は小学校の通学路に指定されています。そのため、児童の安全・安心な歩行空間を形成するため歩道の整備を推進します。



【歩道未整備箇所】

写真①



【歩道整備済箇所】

写真②



# 高齢化する橋梁の予防的補修による長寿命化

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

近畿地方の直轄国道における橋梁は、その多くが万国博覧会の開催前後に集中して建設され、約20年後には、約6割の橋梁が建設後50年以上を迎え、その老朽化が課題であり、橋梁定期点検結果に基づき、計画的な予防的補修による長寿命化が必要となっています。

平成18年度には奈良県の名阪国道山添橋で主桁の亀裂、平成19年度には滋賀県の国道1号白川橋で垂直部材の亀裂等の重大な損傷を発見し、緊急的な補修を行いました。

平成23年度も引き続き、橋梁定期点検結果に基づき、計画的に予防的補修を行い、橋梁の長寿命化を図っていきます。

### ■ 橋梁の予防的補修

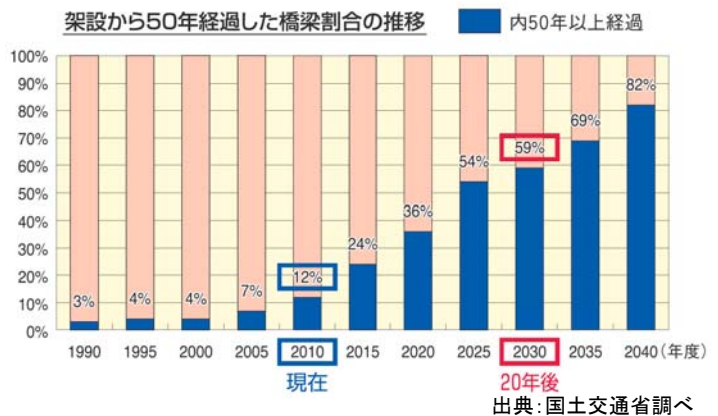
橋梁定期点検で損傷箇所が発見された橋梁については、計画的に予防的補修を行い、橋梁の長寿命化を図っていきます。

平成23年度は大和川大橋他の補修を行う予定です。

### ■ 高齢化する近畿直轄国道の橋梁

20年後には、近畿地方の直轄国道における約6割の橋梁が建設後50年以上を迎えることになり、計画的な維持管理による長寿命化が必要となります。

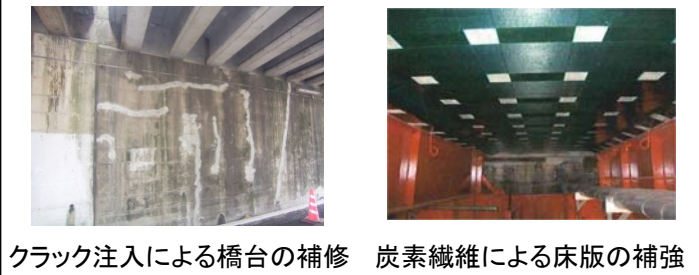
※右図は近畿地方整備局管内の橋長15m以上の橋梁を対象にしています。



### ■ 橋梁点検で発見された橋梁の損傷事例



### ■ 予防的補修の対策事例



### ■ 平成23年度 事業内容

・国道26号 大和川大橋補修(大阪府大阪市住之江区西住之江四丁目地先)他

# 平成23年度 主な開通予定箇所

## 【直轄事業】

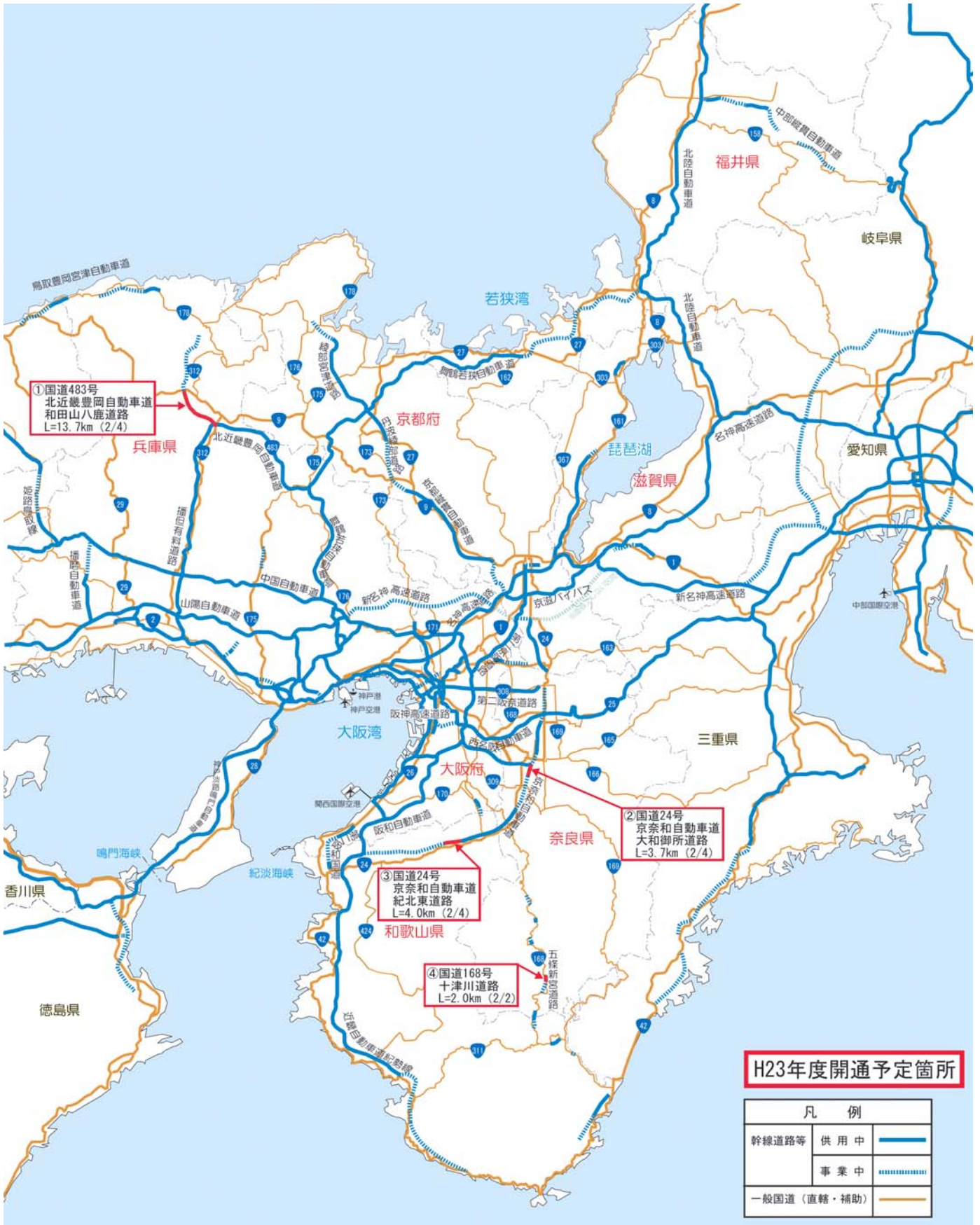
### (1) 高規格幹線道路

	府県名	路線名	箇所名	区間	
				区間	延長(km) (車線数)
1	兵庫県	国道483号	北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路	和田山JCT・IC ～八鹿IC	13.7km (2/4)
2	奈良県	国道24号	京奈和自動車道 大和御所道路	橿原・大和高田IC ～橿原南・御所IC	3.7km (2/4)
3	和歌山県	国道24号	京奈和自動車道 紀北東道路	高野口IC ～かつらぎIC	4.0km (2/4)

### (2) 地域高規格道路

	府県名	路線名	箇所名	区間	
				区間	延長 (車線数)
4	奈良県	国道168号	十津川道路	吉野郡十津川村大字高滝 ～吉野郡十津川村大字小原	2.0km (2/2)

# ◆平成23年度 開通予定箇所図



## H23年度開通予定箇所

凡 例		
幹線道路等	供用中	— (solid blue line)
	事業中	⋯ (dotted blue line)
一般国道 (直轄・補助)		— (solid orange line)

# Ⅲ. 港湾空港関係

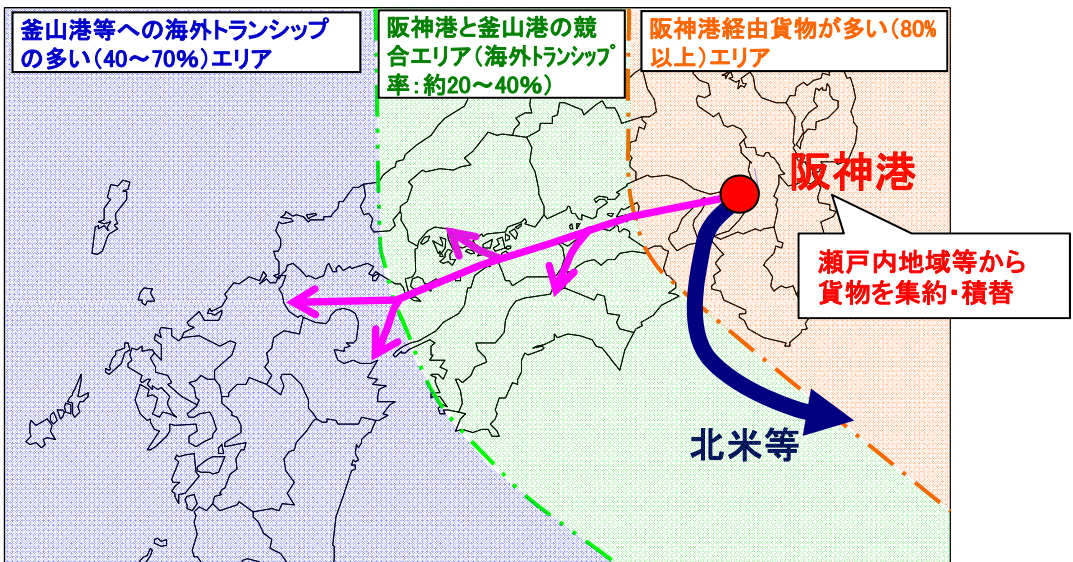
## 国際コンテナ戦略港湾「阪神港」のハブ機能の強化

### I 国土交通省成長戦略の実現

釜山港等アジア諸国の港湾との国際的な競争がますます激化する中、世界各地との間で、国民生活や産業活動に必要な物資や製品を低コストでスピーディーかつ多頻度で確実に輸送できるネットワークを構築するとともに、アジア諸国・世界の成長を取り込み、我が国の成長に結びつけ、「強い経済」を実現し元気な日本を復活させるため、国際コンテナ戦略港湾「阪神港」のハブ機能を強化します。

#### 《概要》

民の視点で港湾の戦略的な経営を行う港湾経営会社を支援するとともに、ハブ機能を強化するためのインフラ整備、阪神港にコンテナ貨物を集約し積み替える物流構造への転換によるフィーダー機能の強化等を推進します。



(資料)国土交通省「全国輸出入コンテナ貨物流動調査(平成20年)」より近畿地方整備局作成



神戸港PI(第2期)地区  
国際海上コンテナターミナル(PC18)

- ・水深16m岸壁が平成22年4月に供用し、4バース一体運営開始
- ・引き続き、航路等の整備を推進



大阪港北港南地区  
国際海上コンテナターミナル(C10-12)

- ・水深16m岸壁が平成21年10月に供用し、3バース一体運営開始
- ・引き続き、航路等の整備を推進

#### 《平成23年度の予定》

- ・港湾経営会社の設立支援等
- ・ハブ機能を支える航路等の整備
- ・大型で荷役効率が高いガントリークレーンの導入
- ・阪神港を核とした内航フィーダー輸送網の構築 等

# 日本海側のゲートウェイ「京都舞鶴港」の機能強化

## I 国土交通省成長戦略の実現

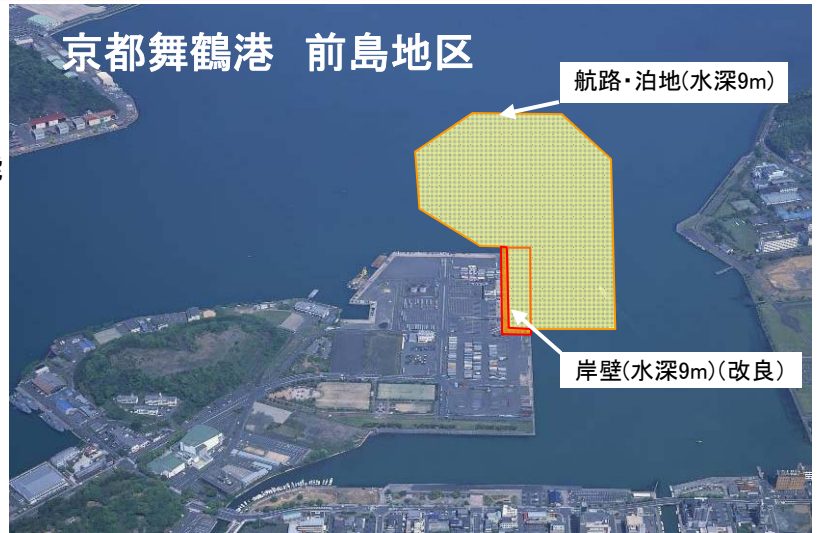
日本海側のゲートウェイ「京都舞鶴港」の前島地区において、国内定期フェリーの大型化に対応するため、既存の複合一貫輸送ターミナルを水深9mに増深改良し、地域間交流の拡大、物流コストの削減、環境負荷の低減等を図ります。

### 《事業の効果》

西日本と北海道の間で増加する人流や宅配便等の複合一貫輸送に対して、大型高速フェリーの活用が可能となり、地域間の交流拡大、物流コストの削減、環境負荷の低減等に寄与します。

### 《平成23年度の予定》

岸壁の増深改良等を引き続き推進します。



## フェニックス事業の推進(大阪湾)

【補助】

### III 安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化

大都市圏を中心に、内陸部での廃棄物処分場を確保することがますます困難となっているため、廃棄物の減量化、再利用の促進を前提に、廃棄物海面処分場の整備を推進します。

### 《概要》

大阪湾において環境省と連携して、近畿2府4県の168市町村から発生する廃棄物を処分する海面埋立処分場の整備を推進します(事業期間:S61~)。

### 《事業の効果》

大阪湾フェニックス計画を推進することにより、長期的安定的に廃棄物を適正に処理し、大阪湾圏域の生活環境の保全を図るとともに、造られた土地については港湾施設等の用地として有効に活用されます。

### 《平成23年度の予定》

各処分場において廃棄物の受け入れを進めるとともに、護岸上部工等の進捗を図ります。



## 堺泉北港 堺2区 基幹的広域防災拠点整備事業の推進

### Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

京阪神都市圏における大規模地震発生時の緊急物資の広域輸送や応急復旧活動等の災害対応力の向上を図るため、堺泉北港堺2区において、基幹的広域防災拠点の機能を担う緑地、港湾広域防災拠点支援施設、臨港道路及び耐震強化岸壁の整備を推進します。

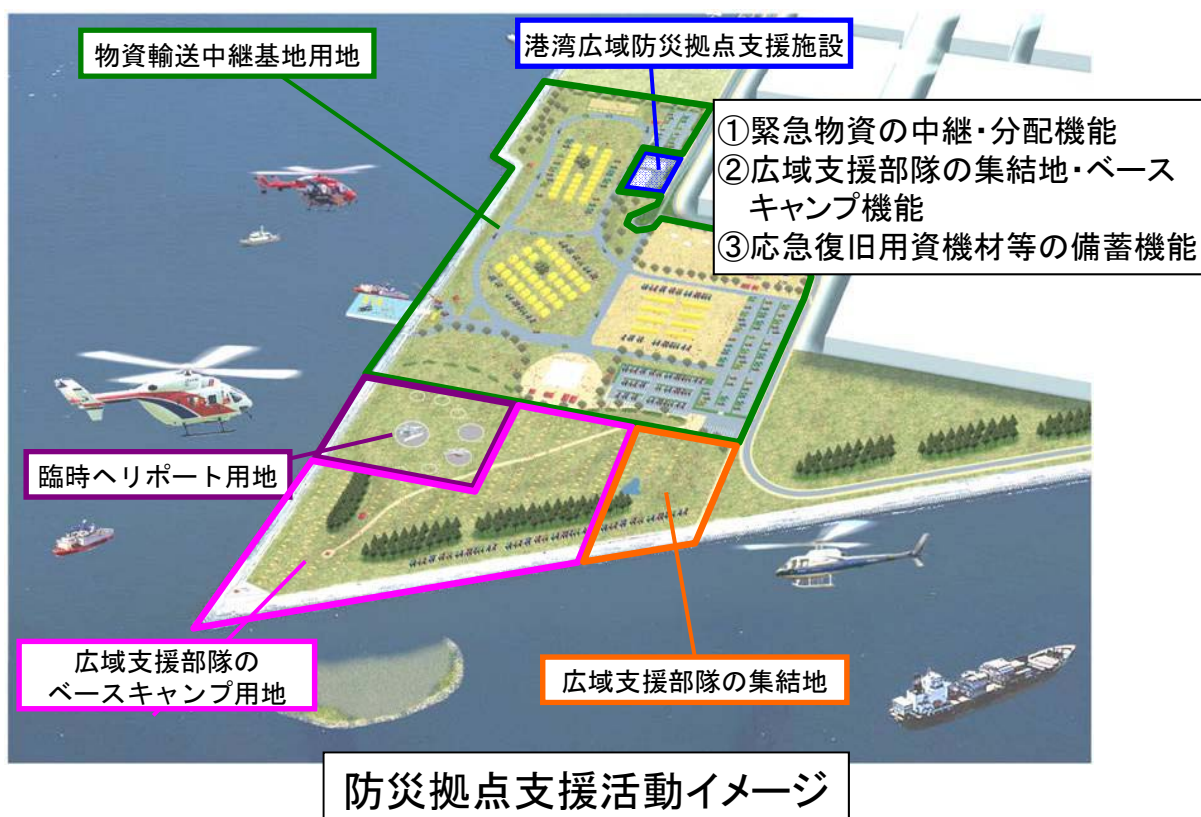
また、これらの施設は平常時においても、地域住民等が憩える親水性を備えた緑地等として有効に利用されます。

《平成23年度の予定》

緑地(用地造成、護岸整備、施設整備)、耐震強化岸壁、支援施設棟を平成23年度の供用を目指し整備していきます。

#### 想定される主な被害

- 上町断層帯地震による被害想定  
(平成20年5月中央防災会議・公表)  
死者数 約42,000人(冬朝5時・風速15m/s)  
経済被害 約74兆円
- 東南海・南海地震による被害想定  
(平成15年9月中央防災会議・公表)  
死者数 約18,000人(朝5時・風速15m/s)  
経済被害 約57兆円





# 和歌山下津港海岸(海南地区)における津波対策の推進

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

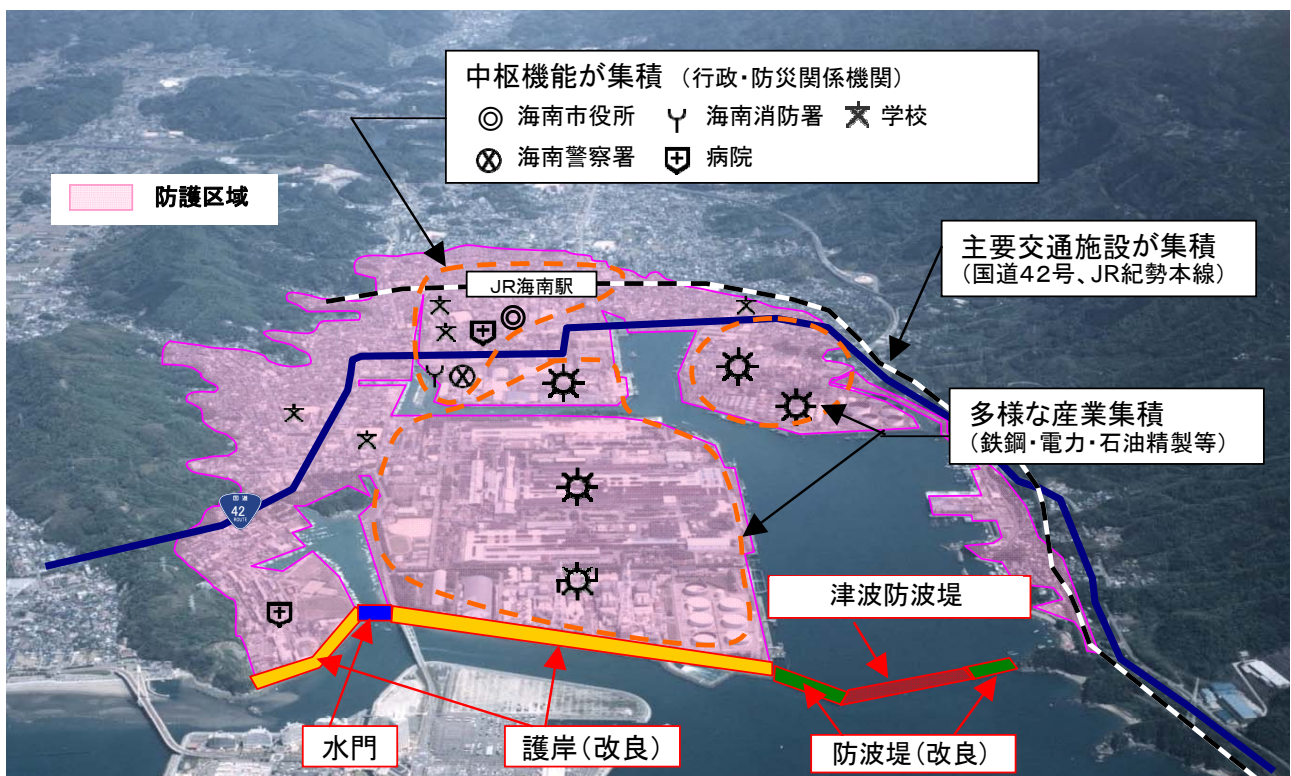
今後30年以内に60～70%の確率で発生するとされている東南海・南海地震等が発生した場合に、著しい被害が生じるおそれがある地震防災対策推進地域において、津波対策を推進します。

### 《概要》

和歌山県海南市における津波浸水予測区域では、行政・防災中枢機能や高付加価値製品製造企業が集積しており、甚大な被害の発生が危惧されています。このため人命・財産はもとより、これら施設の防護のため海岸保全施設の整備を推進します。

### 《平成23年度の予定》

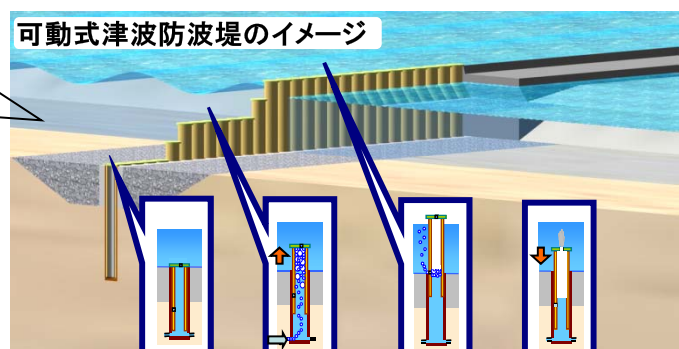
防波堤改良等を推進します。



平常時は、航行船舶の障害とならないように海底に格納し、津波来襲時に海面に浮上させる。

津波終息後は、沈降させ再び海底に格納する。

### 可動式津波防波堤のイメージ



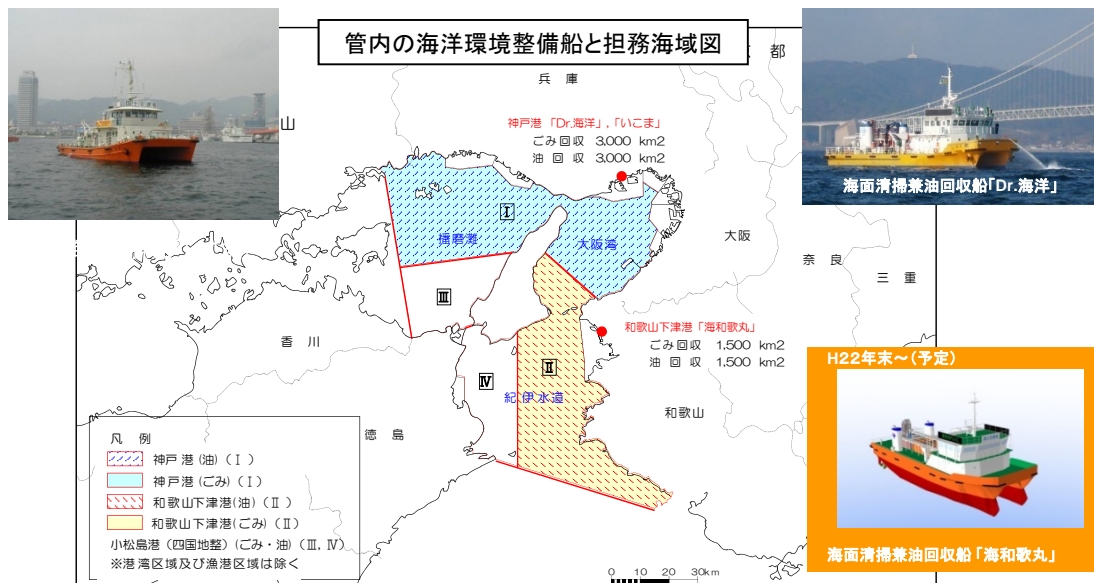
# 海洋環境整備事業の推進(瀬戸内海)

## Ⅲ 安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化

瀬戸内海における航行船舶の安全の確保、海洋の汚染の防除、良質な海洋環境保全を積極的に行うため、大阪湾・紀伊水道・播磨灘 4,500km<sup>2</sup> で海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。

### 《概要》

管内の2基地(神戸港、和歌山下津港)に海洋環境整備船3隻(海面清掃兼油回収船2隻(Dr.海洋、海和歌丸)、海面清掃船1隻(いこま))を配置し、海面の浮遊ごみ・浮遊油の回収業務を実施します。



# 大阪国際空港の整備

## Ⅱ 真に必要な社会資本の着実な整備

航空における安全・安心の確保のため、空港等の耐震対策を計画的に実施します。  
また、整備から40年を過ぎ、施設の老朽化が顕著であるため改良工事を実施します。

### 《平成23年度の予定》

空港地下道の耐震性の向上を推進します。

老朽化したA滑走路の安全運航を確保するため、改良工事を推進します。



## IV. 都市・住宅関係

### 国営公園の整備促進

#### II 真に必要な社会資本の着実な整備

近畿地方に残る貴重な文化的遺産や、里地里山の生活技術といった歴史・文化の保存および活用を図るために、国営公園を舞台として、体験・体感的に歴史・文化・風土を学習することが出来る整備などを促進します。

#### ■国営飛鳥・平城宮跡歴史公園

世界遺産となっている平城宮跡区域においては第一次大極殿院の建造物の設計等を行い、飛鳥区域のキトラ古墳周辺地区については、同地区において展開する体験的歴史学習に供する施設の設計や基盤造成などを行います。

(平城宮跡区域)

(飛鳥区域 キトラ古墳周辺地区)



#### ■国営明石海峡公園

神戸地区において、平成24年度の一部開園に向け、同地区で展開する里地里山文化の体験に供する施設や管理用施設、公園出入口の整備などを行います。

(神戸地区 棚田ゾーン)

(神戸地区 林間ゾーン)

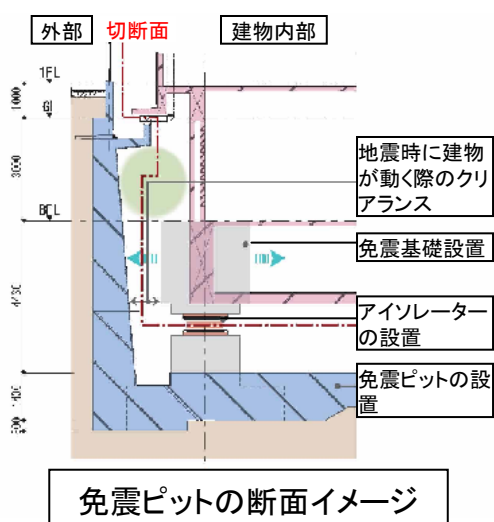


## V. 営繕関係

### 防災拠点となる既存官庁施設の耐震改修の推進

#### Ⅲ 安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化

防災拠点でありながら、耐震性の基準を満たしていない既存の庁舎等について、耐震改修を引き続き推進します。耐震化の推進については平成27年度末までに耐震化率9割の達成を目標としています。



#### 既存施設の免震改修の事例